

# カダイ 解決 討論会

香川の課題を香大が  
解決する討論会

【テーマ】

## これからの時代、 社会で求められるのはどんな人？

香川大学は2018年4月から新学部を創設し、地域の中核機関としての機能を強化します。  
地域を代表する学問の拠点として、ますます重要な役割を求められる中、  
地域の「カダイ」と向き合い、どう対応していくべきなのかを  
香川大学OBであり、地元企業の管理職でもある方をゲストに、  
新学長と在学生がそれぞれの視点から語り合いました。

### 香川大学長 笥 善行

**Profile**  
京都府京都市出身。  
京都大学大学院  
医学研究科を修了  
香川大学医学部附属病  
院の副院長長などを経て  
2017年10月から現職。専  
門は泌尿器科学。

”  
現場の方々の  
意見を聞き、  
新しい視点を  
模索したいです。  
“



### 香川大学OB

### 三菱重工業株式会社 四国支社長 蓮井 靖信

**Profile**  
香川県高松市出身、  
香川大学経済学部を卒業  
香川大学を卒業後に三菱重  
工業へ就職。主にエネルギー(原  
子力/火力)営業業務を担当し、2015年4月より、四国支社  
長として初の地元勤務に。

”  
久しぶりの母校に  
ワクワクしています。  
先輩と会えるのが  
何より楽しみです。  
“



### 香川大学学生

### 経済学部 経済学科3年 加藤 雄太

**Profile**  
栃木県出身  
高校卒業後、徳島大学に進学し  
たものの、香川大学で経済学を  
学ぼうと再受験し、現在は統計  
学を学ぶ。将来は香川県での  
就職を希望。

### 香川大学学生

### 工学部知能機械 システム工学科3年 中原 花奈

**Profile**  
愛媛県出身  
父親の転勤で小学生の頃から高  
松市に在住。現在は香川大学工  
学部にて金属の塑性加工を専  
攻。英語の習得に励んでおり、留  
学経験もあり。



”  
学長と大先輩を前  
ちよつと緊張。  
もうすぐ就職活動なので  
色々相談したいです。  
“

# WHO WILL CREATE A NEW AGE?

香川大学が、地域のために何ができるのか？そのために、どのような教育が行われているのかなどを産学の観点から考える今回の企画。

「今、どのような人材が、社会で求められているのか？少子高齢化が進む日本の中でも特に働き手不足が叫ばれる地方においてどのような人材を企業は求めているのか？」をテーマに討論しました。

景気回復で求人倍率も高く、現在の就職状況は売手有利の環境。

まずはじめに、現役の学生である加藤さんと中原さんの今後の進路についてお尋ねしたいと思います。将来はどこで、どのような仕事に就きたいと考えていますか？

●加藤さん 私は栃木から四国に来て5年目になります。卒業後は香川で現在学んでいる統計学を活かせるような企業に就職したいと考えています。

●中原さん 私は大学院に進学して、現在専攻している金属の塑性加工の研究を続けていきたいと思っています。

中原さんは、大学院へ進学されるということですが、いつかは地元で就職したいと考えているのでしょうか？



●中原さん トビタテ！留学JAPANでスウェーデンに留学をさせていただいて、海外で働くことに興味もあるのですが、やはり四国には愛着がありますし、両親もいるのでいつかは地元で就職したいですね。

お二人とも香川県での就職を希望されていますが、実際の地域経済はどのような状況なのかを、三菱重工業四国支社長で香川大学経済学部OBである蓮井靖信支社長にお聞きします。

●蓮井支社長 四国経済連合会、日銀、四国経済産業局など、いずれの統計においても、四国の景気は緩やかに回復し続けています。生産も、設備

## 「ABC」に秀でた人が、これからの日本を担う人材になると思う。

投資も、個人消費も増加傾向にあり、有効求人倍率も1.5倍程度で順調に推移していて、企業としては人手不足という状態ですね。弊社においても採用活動には苦戦しているということもあるようですが、幸いにも優秀な学生のみなさんに志望いただけて充足できています。

### Active、Balanced、Creativeが、採用の決め手。

学生にとっては、今は売り手市場ということですね。では、御社では採用に際して、どのような基準で選考をされているのでしょうか？

●蓮井支社長 私が直接採用に関わっているわけではありませんが、人事担当に話を

聞いたところ、選考においては「Active、Balanced、Creative」の「ABC」を基本要件として、弊社の採用では重要視しているそうです。

御社で大切にされている「ABC」を、もう少し具体的に教えてください。

●蓮井支社長 「Active」は、弊社では長期間にわたるプロジェクトが多いため、しっかりと自分で目標を掲げ、責任感を持ってやり抜く”行動力”のある人材でなければならぬということ。「Balanced」は、他の人との意見、考えの違いも尊重した上で、全体のバランスを見て判断できる能力”が必要だということ”です。長期プロジェクトということは、それだけ関わる人も多くなるので、みんなが好き勝手なことをやっているだけでは前進しないからです。「Creative」は、ただ発想するだけでなく、それを実現するための実行力も必要だということ。弊社の製品は「日本初」「世界初」といったものが多々あるため、前例主義では進まないケースが沢山あり、そこで必要になるのが斬新な発想と実行力なのです。今は「ABC」の全てを兼ね備えていないとしても、このような人材になりたいと強く思っていただけの方を採用しています。

●算学長 なるほど。「ABC」ですか。面白いですね。私も香川大学のOBの方々と話をすることがあるのですが、香川大学の学生は、真面目だし、熱心だし、協調性もあるということがよく耳にします。蓮井支社長のおっしゃっている「B」の部分に当てはまっているのではないのでしょうか。それを踏まえると今後は「AとC」についても意識していくことが重要かもしれませんね。



人間にしかできないことが、重要になってくると思います。

ただ発想するだけでなく、それを実現する行動力も必要です。

地元での就職も考えていますが、海外で働くことにも興味があります。

現在学んでいる統計学を活かせるような企業に就職したいです。

これからの時代、社会で求められるのはどんな人？

カダイ  
解決  
討論会

WHO WILL CREATE A NEW AGE?



これからの時代、  
社会で求められるのは  
どんな人？

カダイ  
解決  
討論会



WHO WILL  
CREATE  
A NEW  
AGE



KAGAAD TOPICS

地の拠点・知の拠点として、「ハッピーキャンパスサービス」を開催。

2017年9月22日、香川大学にて、地方創生推進事業(COC+)アイデアソン「ハッピーキャンパスサービス」を開催しました。当日は、学生と若手大学職員、社会人合わせて30名以上が参加して、大学における新たな学生サービスについて討論し、寸劇をまじえたプレゼンを行いました。学生と職員、社会人など普段あまり接点のない参加者が、アイデアソン中はお互い対等な立場で意見を出し合い、白熱した討論が見られました。香川大学では、これからも地域が求める人材を育成し、若年層の地元定着を推進する取組を促進するとともに、地方創生に貢献していけるよう、様々な取り組みを行います。



創立から約70年、  
脈々と受け継がれてきた真面目で勤勉な校風。

ところで、蓮井支社長と寛学長からご覧になって、香川大学の学生にどのようなイメージをお持ちでしょうか？

●蓮井支社長 先ほど寛学長もおっしゃっていましたが、やはり真面目でバランス型の学生が多いという印象です。

●寛学長 私も先ほどお話をした通り、やはり伝統のある大学ですので、真面目で勤勉な学生が多いと思います。学習の機会があれば積極的に参加する学生が多く、ここにいる中原さんも香川大学が1年に1度開催している英語のスピーチコンテストに参加しています。私も副学長の頃から審査員をしています。回数を重ねることにレベルは高くなっていると感じますね。

●中原さん はい。昨年は2位でしたが、今年はトップになれるよう頑張りたいと思います。

●寛学長 中原さんもそうですが、自分なりに伝えたいと思うテーマを持って、流暢な英語で話す人が毎年増えていきます。このように英語のスピーチコンテストひとつをとっても、香川大学の学生の生真面目さや向上心が分かるのでは

今の知識は、10年後は役に立たない。  
だからこそ、いつでも学べる環境を作りたい。

ないでしょうか。

●蓮井支社長 少し話は逸れますが、ビジネスの世界だけですと、英語を流暢に話す人よりも、話す内容の方が重視されますね。それは、お互い話したいことと聞きたいことが合致しているからです。もちろん、英語が上手いに越したことはないですが。

●寛学長 では、中原さんのような方は、三菱重工業さんにぴったりじゃないですか。海外向けのビジネスも多い御社なら、彼女は英語も流暢ですし、海外勤務にも興味があるようですよ。いかがですか？

●蓮井支社長 いいかもしれませんね。

●中原さん その時は、よろしくお願いいたします。

地域の課題を自分ゴトとして向き合い、  
人のために、いつまでも向上心を忘れない人へ。

最後に蓮井支社長と寛学長から、これから社会へ出る学生の皆さんにアドバイスなどがあればお願いします。

●蓮井支社長 私の個人的な意見というか要望を言わせていただきますと、四国は少子高齢化の先進地域で、行政や政財界にとっても大きな課題の一つとなっています。やはり四国の経済を考えると、働き手の減少は生産力の低下につながりますし、消費の低迷にもつながりますので、若い人なりに

少子高齢化問題を自分のこととして捉えてもらいたいと思います。

●加藤さん はい。地域に貢献できるように、考えていきたいと思えます。

一 寛学長からも、お願いします。

●寛学長 そうですね。私も大学を卒業してから、医師として大学に勤めていたわけですが、その中で学んだこととして、「自ら進んで他人のために働ける人間」であることが、上司や部下、ひいては社会から必要とされる人なのだと思います。本学の学生には、自分のためはもちろん他人のために汗をかける人間になってほしいですね。

また、これからの時代はこれまで以上に変化が激しくなるでしょう。今の知識が10年後には通用しなくなっているかもしれません。だからこそ、大学としては社会人にも門を開き、学びたくなったらいつでも学べる環境を作っていく必要があると考えています。

●中原さん 海外では当たり前のように、日本でも就職後に大学で学べる環境を整えば、もっと新しい可能性が開けると思いますので期待しています。

「これからの時代に求められる人とは？」について、企業管理職、教育者、学生それぞれの視点から率直なご意見をありがとうございました。これから社会に出る香大生の参考になったと思います。